

～未来へつなぐ 住みよい興田～

興田地区振興会だより



No.84 令和4年10月25日
連絡先 興田市民センター内
振興会事務局 74-2201

目次

- 第4回理事会 ●健康福祉部会 ●興田小僧
- 歌と踊りのふれあいステージ・興田芸能祭 ●おきた子どもフェスティバル

興田再発見
移動研修

令和4年度

興田の 中世城郭 めぐり

11月6日(日)
9時～14時

行程

午前9時集合 大東開発センター出発
月館→川嶋館→美女ヶ森館→
柏木館→小森集会所(昼食・トイレ)→
古谷館→花崎館→興田の奥入瀬
午後2時頃 大東開発センターにて解散

持ち物/昼食(おにぎり)、飲み物、タオル、熊鈴
服装/長靴、防寒着、マスク
参加料/無料 定員/先着15名
申込み/申込みは下記へお電話ください。
定員になり次第締め切ります。

主催 興田地区振興会 ☎0191-74-2201

第4回 猿沢地区コース

令和4年度

史跡巡り

定員 20名

健康づくりウォーキング

11月19日(土)

8:50 集合
9:00 から 12:00

参加料 200円 (コーヒー代)

ウォーキングコース(約3km) ※雨天の場合はバレーボール記念館内(屋内用運動靴持参)
大東開発センター⇒《バス移動》⇒猿沢神社⇒
観福寺(見学・講話)⇒なに〜か・あ〜る(休憩)⇒猿沢市民センター⇒
《バス移動》⇒大東開発センター

持ち物
飲み物・タオル
帽子・マスク
万歩計

申込・お問合せ 興田市民センター ☎0191-74-2201

主催：興田地区振興会・興田市民センター
共催：興田地区福祉活動推進協議会・興田体育協会



活動報告と今後の予定について協議

10月21日（金）第4回の理事会を開きました。

第2四半期の活動経過と活動予定報告、会計報告、振興会規程の改定について協議されました。

また、今年度新年交賀会の開催有無についても協議しましたが、11月の理事会にて結論を出すこととしました。

その他、さまざまご意見を頂きました。



理事会の様子



世界一幸せな村から学ぶ「豊かさ」

令和4年度 福祉講演会



講師の白澤良一氏

10月11日（火）、大東開発センターを会場に、福祉講演会（興田地区福祉活動推進協議会・健康福祉部会 主催）を実施し、44名が聴講に訪れました。講師にNPO法人遠野まごころネットで理事を務める白澤良一氏（大槌町在住）をお招きし、「シニアは地域のフロントランナー～おだやかな地域社会をめざして～」と題してご講演をいただきました。

白澤氏が理事を務めるNPO法人遠野まごころネットは、2011年3月11日の震災後すぐ有志6団体により結成し、ボランティアの方々と共に地域づくりに関する

様々な活動支援を行っています。

今回の講演では、人口減少で起きる地域の問題についてや、遠野市米通り（総戸数7戸・定住人口10数人）の自治会活動についてもお話くださいました。

米通りでは、村が一丸となって、伝統の保守やエネルギーの自立、自給自足に取り組んでいます。失敗を恐れずとにかくやってみる考え方が、活気あふれる村づくりに繋がっています。

米通りは関係人口・交流人口がとても多く、一昨年は約250人、昨年は約350人も村に訪れました。訪れた人は皆、帰る際に「幸せを感じる、ありがとう！」と言って帰っていくので、米通りの人も元気をもらい、素敵な循環が生まれているようです。

講演のなかで伝えられた、「私たちを見て 自信をもち 希望をもち 幸せになって欲しい」というメッセージは、生きがいを見つけいきいきと生活する米通りの力強さを感じ、胸を打たれました。



お話を聞いただけでも希望が湧きました！



成長の記録を残す「興田小僧」



興田神社



撮影準備の様子



10月2日(日)、昨年度に引き続き「興田小僧」撮影会を実施し、興田保育園の25名と保護者が参加しました。

「興田小僧」とは、少子化の進展により、地域にとって貴重な子どもたちの笑顔を撮影し、展示することによって、地域住民の子育て支援意識を高めたいという目的で行っている事業です。

プロのカメラマン小山一芳さん(興田出身)

の指示の下、興田神社境内の様々な場所で撮影を行いました。

慣れない場所で、慣れない衣装を着ながらも、カメラに向かって笑顔を向けてくれる子どもたちに、撮影補助の大人たちはみなほっこりしている様子でした。

保護者の皆さま、撮影関係者の方々、お疲れさまでした。



産業振興

ソバ収穫作業

10月20日(木)、産業振興部会でソバの実収穫作業を行いました。

葉っぱや細かい土などのゴミと、ソバの実を分ける作業を何度も繰り返し行う予定で、現在はソバの実をブルーシートに広げ、自然乾燥させています。

美味しいソバができるかドキドキです。



かごに通してゴミと実を分けています



健康福祉

歌と踊りのふれあいステージ・興田芸能祭

11月3日(木・祝)、大東バレーボール記念館にて、歌と踊りのふれあいステージ・興田芸能祭(主催:興田芸術文化協会・興田地区振興会、後援:興田市民センター・興田地区福祉活動推進協議会)を実施します。

開場は8時30分、公演は9時から開始します。

以前までと同じく、踊りや演奏、詩吟や民謡などの演目がありますが、今回は特別出演として、スコップ三味線の「サンイチ三味線」

や、ロックバンドの「Hiasobi」(遅沢)も演奏してくれます。

賑やかで楽しいイベントとなること間違いなしです!

詳細は折り込みチラシをご覧ください。

統計情報	世帯数(戸)	男性(人)	女性(人)	合計(人)
令和4年9月末	1,160	1,394	1,411	2,805
前月比	0	-3	-2	-5
前年同月比	-10	-47	-72	-119



教育文化

♪ワクワク・ドキドキがいっぱい♪ おきた子どもフェスティバル

9月25日(日)に、大東バレーボール記念館を会場に、おきた子どもフェスティバル(教育文化部会主催、興田市民センター共催)を開催しました。



空手道場大濤塾のみなさん



計4団体が日頃の活動成果を発表し、参加者101名にもなる大盛況なイベントとなりました。

開会式前には興田保育園がダンスを披露し、素敵な決めポーズで会場を盛り上げました。

開会式では、興田中学校の10名が、中学校で伝統的に取り組んでいるボディーパーカッション(体を叩くなどして、体を楽器に音楽を表現すること)を披露してくれました。

空手道場大濤塾は、会場の皆さんと一緒に型を体験する時間もあり、子ども達も楽しげな様子でした。

最後の出演者である前沢一輪車クラブアルスノーバは、一輪車を身体の一部のように操った美しい舞と綺麗な衣装で、華やかにトリを飾ってくれました。



前沢一輪車クラブ
アルスノーバのみなさん



来場者と出演者が交流する場もあったので、今回のおきた子どもフェスティバルが、子どもたちの素敵な出会いの一助となることを願っています。



また、今回、興田中学校から6名がスタッフとして参加して下さり、司会など運営のお手伝いをしてくださいました。本当にありがとうございました。